

学校華道インターネット花展
瀧澤さん(湯沢北高)に文科大臣賞



湯沢 采未

「宇宙飛行」テーマに表現

写真に収めた生け花の出来栄を全国の若者が競う「第24回学校華道インターネット花展」で、湯沢市の湯沢北高校3年の瀧澤采未さん(18)が、文部科学大臣賞に輝いた。花展は、生け花の若い世代への継承や発表の場の提供を目的に池坊華道会(本部・京都市)が毎年開催している。対象は池坊いけばなを学ぶ幼児から大学院生まで。今回は50005点の作品の応募があり、2月7日に審査結果が発表された。

瀧澤さんの作品のテーマは「宇宙飛行」。ヒオウギと発



賞状を手にする瀧澤さん

泡スチロールの玉で感筆を表現し、ニューサイランの細長い葉を曲げて輪の形にして星の軌道や輪をイメージした。教室で指導を受ける池坊秋田支部会員の後藤孝さんの勧めでコンクールに毎年出展している。

「宇宙飛行」をテーマにした瀧澤さんの作品

作品の後ろに鏡を立て掛け、奥行きや宇宙の無限の広がりも表した。

瀧澤さんは「楽しく生けることができた。受賞できるとは思わず、びっくりした」と話す。審査員からは「テーマである宇宙をうまく表現した。面白さのある作品」と評価を受けた。

生け花は小学1年生から湯沢市内の生け花教室「花くらぶキッズ」で学んできた。花の姿の美しさに魅了されたことや、自由に楽しく生けることができる環境だったことから、通い続けたという。

高校では美術部に所属し、人や花などをモチーフに絵を描いてきた。将台亭サインの方で地域の魅力を発信するため、ポスターやパンフレット、ウェブデザインなどを手掛けたいという。「生け花をする機会は少なく思うが、作品には描き続けたい。この春、秋田市の秋田公立美術大学に進学する。」

(漆文舎)